



令和4年度 決算の状況について

- ◆令和4年度一般会計の実質収支は、昨年度から3.9億円減少し14.1億円
- ◆予算対比による実質収支の主な要因は、固定資産税等市税収入の増（+1.2億円）、大雪等による特別交付税の増（+2.4億円）、国補助金の追加交付等による除雪費用の減（+1.0億円）など
- ◆実質収支14.1億円の用途については、物価等高騰対策や除雪等災害対策などへ優先的に活用
(物価高騰対策や除雪等災害対策などの状況を踏まえながら、年度末に向けて公共施設整備基金等への積立を検討)

≪決算の概要≫

(単位：千円)

年度	①歳入	②歳出	③形式収支 (①-②)	④繰越すべき 財 源	⑤実質収支 (③-④)	⑥単年度 収 支 (前年度実質収支 との差額)
R04	21,541,884	19,715,448	1,826,436	416,440	1,409,996	▲393,825
R03	21,417,114	19,203,886	2,213,228	409,407	1,803,821	319,124
R02	23,311,229	21,758,559	1,552,670	67,973	1,484,697	451,140

(実質収支の主な要因) ※予算対比(一般財源ベース)

- ①固定資産税等市税収入の増 +1.2億円
- ②地方交付税の増(大雪等による特別交付税の増) +2.4億円
- ③譲与税・交付金の増(地方消費税交付金等) +0.6億円
- ④J叶交付金関連(一財をJ叶交付金に振替え) +1.4億円
- ⑤除雪費用の減(国補助金の追加交付等) +1.0億円
- ⑥R3実質収支の残(R3⇒R4の繰越金) +0.7億円

実質収支14.1億円のうち5.4億円(9月補正予算編成後：前年度同期6.8億円)を、前年度からの繰越金として令和5年度歳入予算に計上済

(参考) 基金年度末残高の推移 ※土地開発基金・特別会計基金は除く

(単位：千円)

年度	基金残高	うち公共施設整備基金残高 (R8年度末目標額20億円)	うち財政調整基金残高
R04	4,055,758	1,286,883	1,062,416
R03	3,056,868	666,868	862,399
R02	1,982,219	466,858	662,385